

事業所名

ビジョントレーニング療育 ベすとびじょん

支援プログラム

作成日

7年

1月

13日

法人（事業所）理念		生きる力の土台を創り、子どもの未来を科学する。						
支援方針		子どもの幸せと可能性を1番に考え、最高の療育支援で、子どもの輝く未来を引き出す。						
営業時間		9時	30分	17時	30分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	健康な体を基礎に、生活習慣を確立し、楽しんでビジョントレーニングに参加する。目と体、目と手先を協応していくトレーニングをおこなっていく。成果に繋がってくることで、日常生活において必要となる生活動作がスムーズにおこなっていけるようになり、前向きになる気持ちと共に自信へと繋がっていけるように支援する。						
	運動・感覚	ビジョントレーニングに特化した活動プログラムによって、緊張がほぐれ、安心して手先や身体を動かし、身体機能や関節機能、手先機能の発達を促す。ビジョントレーニングに特化した活動を経験していくことで、たくさんの刺激を受け意欲へと繋げていく。やがて成果となり達成感を味わいながら、徐々に緊張や不安が和らいでいき、手首の回転や、体の柔軟性、目と手や、目と体を協応させていくことで、持っている力を充分に発揮できるよう支援する。						
	認知・行動	「みる」「きく」「かんがえる」ことで、思考の発達や目に見えないことをイメージし意識する力を育む。五感を通して外部環境から情報を得て整理し、理解して考えて行動する力を養う。 「みる」「きく」「かんがえる」ことで、様々な力を育てていく。情報を処理し、記憶にとどめ、アウトプットしていくという思考へのスムーズさに繋がっていけるように、視覚・聴覚・認知機能トレーニングによって、いろいろな課題を経験し力をつけていけるように支援する。						
	言語コミュニケーション	感じたことやイメージしたことなど、見えないものを想像しながら、言葉にして豊かに表現する。友だちと一緒に活動を楽しむ中で、人を意識し、「みてみて」という気持ちの思いを感じていく。 過去・現在・未来などの時系列を徐々に理解し、順序立てて言葉にして相手に伝えるという手段を身につける。 子どもからの「伝えたい」という気持ちの発信や、時には周囲の大人が仲立ちとなった代弁で、言葉の模倣や表現方法を知っていくことに繋がっていけるように関わりかけていく。						
	人間関係社会性	成功体験を積み重ねていくことで、自己肯定感を育み、適応していく力や自信をつける 集団の流れに乗ってビジョントレーニングに参加し、周囲の様子や距離感に慣れる。いつでも・どこでも・だれとでも、安心できる環境を保障し、どの場面においても自信をもって適応していけるように見守り支援する。 ビジョントレーニングを経験していくことで、気持ち的にも、能力的にも、発達の土台を整えていく。友だちと共にトレーニングに参加することが心地よく感じていけるよう、活動内容を工夫し組み合わせる。						
家族支援	家族の様子を聞き取りサポートする 家庭での様子を聞き取り家族の気持ちに寄り添いながら、ニーズや状況に応じた相談援助をおこなう。 時には、活動の場面を通じて、お子さまの個性や特性を踏まえた関わり方等に関してや遊び方などの相談援助をおこなう。	移行支援	進級（就学）に向けて、子ども自身の不安や、保護者の心配なことに寄り添う 保護者からの意向がある場合には、訪問支援員は家庭や学校・幼稚園・保育所・保育園に訪問し、子どもの様子や心配事など、移行先への助言援助や関係機関との移行に向けた協議等や相談援助をおこなう。					
地域支援・地域連携	必要な関係機関と連携していく 通っている学校・幼稚園・保育所・保育園の先生や相談支援員、必要な各関係機関と適宜連携し、子どもが健やかに過ごせるよう支援する。個別支援計画書の配布や報告資料等の作成、ケース会議等に参加し情報連携をおこなう。	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビジョントレーニングについての施設内研修（月1回）</li> <li>・毎日の職員会議での打ち合わせと、終了後の振り返りと話し合い</li> <li>・各子どもたちのケース検討会</li> </ul>					
主な行事等	運動会・親子体験会・保護者勉強会・夏祭りなどその他イベント							